



南仏マルセイユで日本の自治体 PR！ ～マルセイユ秋祭りにブース出展～

(一財)自治体国際化協会パリ事務所 所長補佐 木下 正伸 (岡山県高梁市派遣)

マルセイユ秋祭り

10月2～3日の週末、フランス南部の都市マルセイユのボレリー公園にて、市主催の第10回秋祭りが在マルセイユ総領事館の協力のもと開催されました。この秋祭りは、2020年は残念ながら中止となってしまいましたが、毎年1万人以上が訪れる日本文化をテーマにした人気イベントです。今年はマルセイユ市と神戸市の姉妹都市提携60周年、ボレリー公園内にある日本庭園の開園10周年とを祝う節目の年にあたり、コロナ禍で会場内には人数制限が設けられていたものの、多くの来場者で賑わいました。

今年の秋祭りでは、茶道や武道などの伝統的な日本の伝統文化を伝えるデモンストレーションや、日本のマンガやアニメのコスプレとダンスの披露などが行われたほか、書道教室や紙飛行機作りのワークショップも開かれました。また、レストランのブースでは、握り寿司や和風カレーなどの日本食が販売されました。

クレアパリ事務所は、兵庫県パリ事務所と協力して、日本の自治体の観光PRと日本酒の試飲ブースを設け、

この秋祭りに参加しました。

ブースには沢山の方々に立ち寄っていただき、持ち込んだ約2,000部の日本側自治体のパンフレットはあっという間になくなりました。来場者の方々からは「いつから日本に行けるのか?」という質問も多く寄せられ、マルセイユの皆さんの「日本を訪れたい」という強い希望がよく伝わってきました。

併せて実施した、日本酒の魅力をPRするための試飲も大変な盛況でした。日本酒の香りやフルーティーな味わいは、多くの方に気に入っていただくことができ、「購入したいのでフランスでの販売店を教えて欲しい」という声も聞かれました。

伝統的な日本文化からポップカルチャーまで、日本文化をテーマにしたこの秋祭りは、日本のことをよく知らない方から日本通の方まで、老若男女の誰もが幅広く日本文化を楽しみながら知ることのできる良い機会になっていると感じました。

クレアパリ事務所は、これからもこうしたイベントに積極的に出展し、日本の自治体の魅力をフランスの皆様へ発信してまいります。



さまざまなキャラクターに扮したコスプレイヤーの皆様



来場者の興味や関心などを聞きながら自治体の魅力をPR